

第5章

計画の円滑な推進のために

第5章 計画の円滑な推進のために

1 計画の推進・評価体制

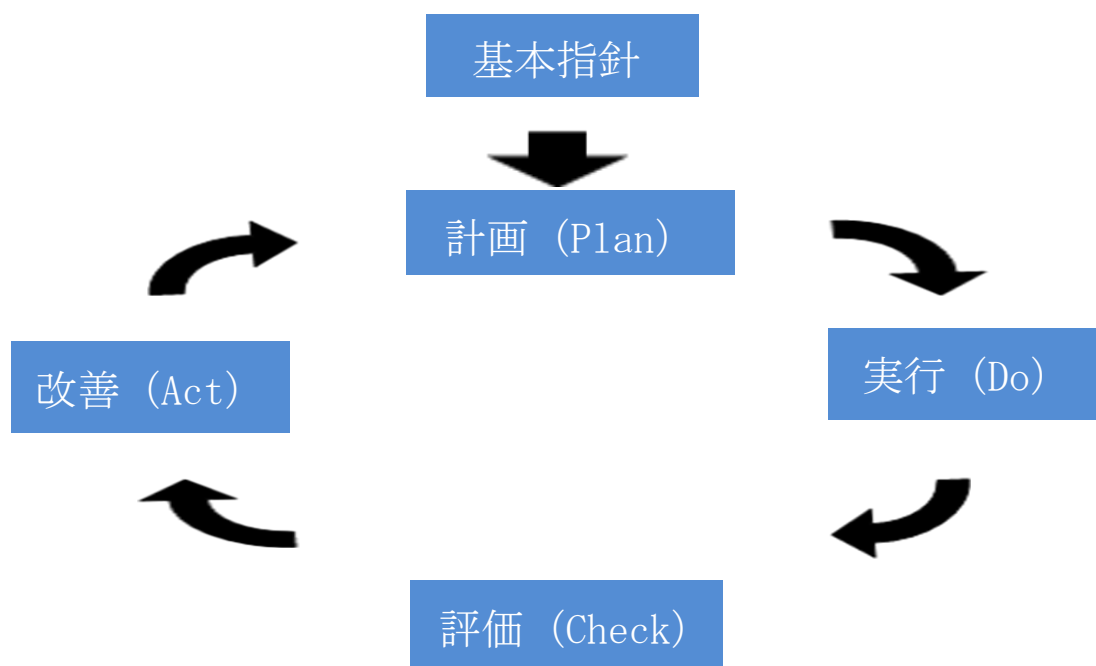
本計画を円滑に推進していくためには、常に市内に在住する障害のある人のニーズを把握し、その情報を関係機関と共有しつつ、関係機関と行政が一体となって本市の障害福祉の在り方を検討していく必要があります。

本計画の推進はもちろんのこと、社会情勢や障害のある人のニーズの変化等が生じた場合は、本計画の見直しを含め柔軟に対応できる体制づくりを整備することが本市にとっての課題です。

こうした課題を踏まえ、本市では相談支援事業者、福祉サービス事業者、保健・医療、学校、企業、障害福祉関係機関、障害当事者団体、地域ケアに関する学識経験者等を構成員とした「那須塩原市地域自立支援協議会」及びその下部組織である「相談支援部会」「事業所部会」「当事者部会」を設立し、事業実施の効率化を図るため、専門グループとして「人材育成グループ」「就労支援グループ」「子どもグループ」を設置することで、“障害のある人のニーズを常に把握し、迅速に障害福祉施策に活かしていく”ための体制整備を進めています。

また、計画の達成状況の点検及び評価のシステムとしてPDCAサイクルを導入し、少なくとも年に1回は、目標値等に関する実績を把握し、分析・評価を行い、必要があるときは、計画の変更等を講じます。評価の際には「那須塩原市地域自立支援協議会」の意見を聴くとともに、その結果については、公表することとします。

本市では、これらの取組によって本計画の円滑な推進を図ります。



「那須塩原市地域自立支援協議会」
 地域の個別課題を市全体の課題として市へ提言

那須塩原市

2 1
 1 構成員
 活動内容
 「那須塩原市地域自立支援協議会」
 協議会、全体会
 障害者団体、関係機関、学識経験者等
 相談支援部会、事業所部会、当事者部会からの問題提起を検討
 21名
 【市への提言】

「相談支援部会」

【情報の一元化→地域課題の発見】

- 1 構成員
相談支援事業担当者、関係機関担当者 4 1 名
- 2 活動内容
関係機関への各種相談ケースから個別の問題点の掘り起し

「人材育成グループ」

- 1 構成員
相談支援事業担当者 2 7 名
- 2 活動内容
スキルアップのための定期的な勉強会、事例検討会等

「事業所部会」

【地域課題の解決手法を検討 → 市全体の課題へ】

- 1 構成員
市内障害福祉サービス事業所担当者 3 0 名
- 2 活動内容
相談支援部会、当事者部会から提起された地域課題等の具体的な解決手法について検討

「就労支援グループ」

- 1 構成員
就労系サービス事業所担当者 1 1 名
- 2 活動内容
優先調達法の共同受注、共同販売会等

「子どもグループ」

- 1 構成員
児童通所サービス事業所担当者 1 6 名
- 2 活動内容
児童分野における課題の議論、医療的ケア児のための障害児通所支援サービス提供体制の検討等

「当事者部会」

【地域に貢献できることを検討】

- 1 構成員
障害のある人又は保護者（一般公募） 1 5 名
- 2 活動内容
(1) 障害のある人又は保護者（当事者）が地域に貢献できることを検討
(2) 当事者の観点からの個別の問題点の掘り起し